

## マスクサ (升草)

名前の意味：子供が茎を裂いて、升の形にして遊んだから。

分類：双子葉類、カヤツリグサ科、スゲ属

(カヤツリグサ科の栽培植物：パピルス)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：つやのある細長い葉、金平糖のような実の集まり。



こんぺいとう  
金平糖

種子の運ばれかた：そのまま下に落ちる

花弁の数：ない (苞は1枚)

花の時期：5 - 6月

食べ方：食べられない

見分け方：ハマスゲは、穂が赤紫色。他のスゲの仲間は、一番先の穂が雄花でできている。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)